



FAS 住まい新聞

発行責任者
(株)福地建装
北斗市中野通 324
0138-73-5558

～間違いのない工務店の選び方～

住まいは生涯に渡り自分と家族の身体を委ねるのです

無知で無責任な建築学者もいる

ある住宅情報誌の高名な建築学者が「様々な住宅工法が存在するがどれも一長一短があり建主の好みで選択するもの」と、何とも無知で無責任なコラムを書いておりました。住宅工法には確かに一長一短があり、その長所と短所を、生活する建主さんのライフスタイルに適合するかどうかを見極めることが大切です。建築学者こそが、その住む人のライフスタイルと対象工法との適正さ、不適正さを客観的に検証し、アドバイスすべきでしょう。

ところが、このようなコラムを書く学識者の多くは、工法に潜在する可能性すら全く把握していません。ハウスメーカーや工務店は自社のつくる家が最も優れているかのごとく宣伝して営業攻勢をかけます。素人の建主さんは、その真贋の区別すらつかないのです。

見た目では選べば必ず後悔します

業者側からの売り易い家とは、外観、内装が美しく、什器備品も豪華で機能性に満ちている事です。売り手のハウスメーカーや工務店の殆どは、このような意匠や機能性に特化した特長を備えています。

見た目や豪華さ、機能性も勿論重要な要素ですが、いずれも業者側が建主に販売契約を締結するまでの重要さであり、建主が住んだ後の事が希薄となりがちです。建主が住んでから具現化する事とは「暖かさや暖房費」「涼しさや冷房費」など、温熱環境の健康、快適性と光熱費などの経済性です。

家の性能は重要な要素です

家を販売する側にとっての家の性能は、目に訴えるものではなく、販売して建主が住んだ後の事なので、どうしても訴える力が弱くなりがちです。ところが、生涯その空間に自分や家族の身体を委ねると言う事は、見た目より快適性や経済性など、家の基本的な性能の方がはるかに重要であるのです。このように、家づくりに大切な家の性能が後回しになっているのが現在の住

宅産業の現状と言えます。この家の性能は、住宅システムの工法によるところが殆どであり、どこかの無知な学者が言った「好みで選ぶ」などと言うものでは決してないのです。

工務店の選び方

工務店の技量を推し量る方法

大金を注ぎ込む家づくりは、まず地域に密着しており、工務店経営者の顔が見える範囲に存在する工務店が安心です。どのような工務店でも常に30社にも及ぶ協力業者を配しており、その協力業者の協力によって家づくりを行っています。その協力業者の評判で、工務店の技量を推し量る事が可能です。

またどのような工法を採用しているかも工務店選びの重要な要素ですが、家づくりは地盤調査から基礎、構造、外壁、屋根、内装、そして冷暖房、給排水設備などの多くの工事が伴い、どんな仕事より勉強量が必要です。

地域密着の工務店で経営者自身が、人任せにせず、自らが多くの情報を持ち、様々な勉強している事を確認しましょう。協力業者から聴けばわかります。

どんな工法を持っているか

一般に言われる高気密、高断熱などと言う家の性能は、中途半端なものであれば、むしろ弊害の方が多くなります。高気密、高断熱を採用するなら徹底してその性能を求めるべきです。また確立した高気密住宅の室内で大量に火を燃やすと酸欠状態となり不完全燃焼を引き起こす場合があります。極端な言い方をすれば気密住宅は必然的にオール電化住宅にならざるを得ません。このような住宅の性能は住んでから様々な事象が起きて来るため、整合性の伴った工法を持っている工務店を選ぶべきなのです。その工務店で建築したユーザーさんに聴く事です。

幸の知恵袋

バスルームの鏡のくもり止めには

お風呂の鏡ってホントよくくもるよね。チョット鏡をみようと思うたびに、お湯や水をかけてくもりを取ってから見る人が多いんじゃないのかな。今は、くもり止めの用品なんかも売ってるけど、身近なものでもくもり止めになるんだよ。その身近なものは、シェービングクリームなんだ。鏡にシェービングクリーム塗って5分ほどおいて、その後乾いた布で良く磨いてあげるとくもり止めになるんだよ。



ファース本部のオフィシャルサイトは

健康深呼吸

検索